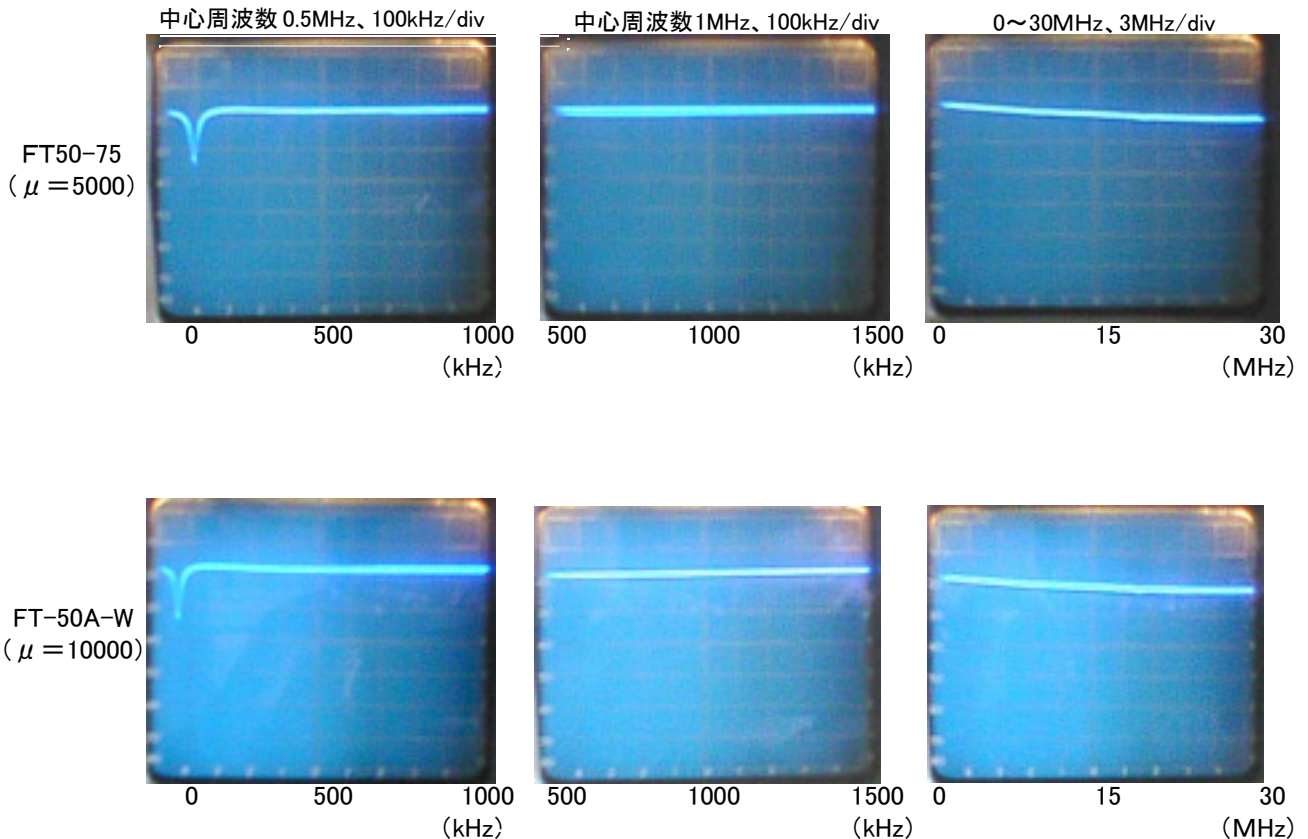
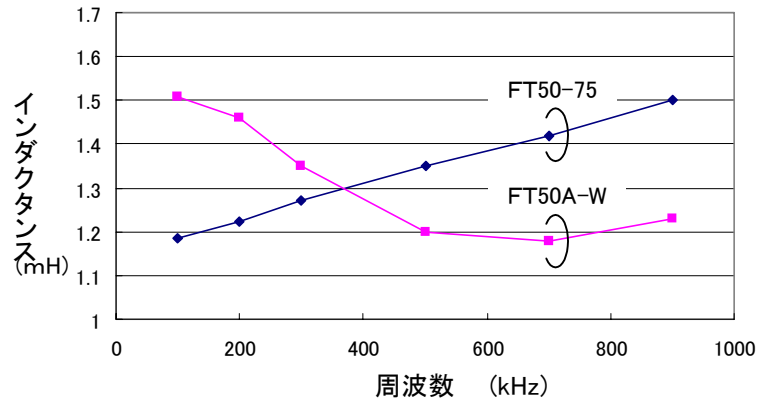


高透磁率コアを用いたバラン

堀場 啓二

五水井一浩さんから高透磁率のコアを頂きましたので、早速9:1のバランを作ってみました。透磁率は、5000～10000と高いので、高域での周波数特性に期待できそうです。先の「長波対応ロングワイヤ用バランの製作」と合わせてご覧ください。

バラン高域での特性を比較するため、下限周波数を150kHzとしインダクタンスを求めました。L=796 μ Hとなる巻き数は、FT50-75(μ = 5000)AL=2750mH/1000turnsなので、6回巻き×3本、FT-50A-W(μ = 10000)AL=5936mH/1000turnsは、4回巻き×3本となりますが、低域を少し伸ばす為、7回巻き×3本(1.2mH)と5回巻き×3本(1.3mH)にしました。



FT50-75とFT-50A-W共にほぼ同じ特性に仕上がりました。

(2000年7月)